

## 基礎看護学授業全体計画

専門分野 I	開講年次		単位	時間	担当者	
基礎看護学	1・2年次		13	435	専任教員	
科目構成	看護学概論、看護実践の方法、安全を守る技術、アセスメント技術、日常生活の援助技術Ⅰ、日常生活の援助技術Ⅱ、診療に伴う技術、主要症状別看護、治療処置別看護、臨床看護演習、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ					
授業目的	看護学及び看護実践の全ての基本となる看護の概念をとらえ、看護の対象である人間を生活者として理解し、ライフサイクルにおける健康の意義と保健医療福祉における看護の役割の重要性を理解する。さらに、看護実践の基本となる看護技術及び問題解決の方法を習得する。					
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の本質、目的、対象を理解し、社会における看護の意義が理解できる。</li> <li>2. 保健医療福祉チームの一員としての看護の役割・機能が理解できる。</li> <li>3. 専門職としての意識を高め、倫理に基づく行動をとるための基礎的能力が習得できる。</li> <li>4. 看護における共感的態度の意義を理解し、対人関係能力の基礎を養う。</li> <li>5. 看護技術の概念を理解し、安全・安楽・自立・経済性に基いた援助技術が習得できる。</li> <li>6. あらゆる健康レベル、発達段階にある対象に対して、健康上の課題に対応するため科学的根拠に基づく看護実践に必要な基礎的能力が習得できる。</li> </ol>					
授業科目	看護学概論		看護実践の方法	安全を守る技術	アセスメント技術	
単位・時間	1単位 30時間		1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間	
開講時期	1年次前期		1年次前期	1年次前期	1年次前期	
学習の内容	看護の概念 看護の変遷 人と環境 健康と看護 保健医療システムと看護 看護の機能と業務、看護活動 看護の専門性と倫理		看護技術総論 看護介入の安全・安楽 コミュニケーション技術 看護過程の展開	事故防止の技術 感染防止の技術 生活環境	フィジカルアセスメントとは 健康歴の聴取 身体計測 バイタルサイン フィジカルアセスメント演習	
授業科目	日常生活の援助技術Ⅰ (清潔・活動)	日常生活の援助技術Ⅱ (食事・排泄)	診療に伴う技術	主要症状別看護	治療処置別看護	臨床看護演習
単位・時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間
開講時期	1年次前期	1年次前期	2年次後期	1年次後期	1年次後期	1年次後期
学習の内容	清潔・姿勢・活動・睡眠・休息	食事 排泄	検査 与薬	健康生活と看護 経過別看護 主要症状別看護	治療処置別看護	看護の対象と目標・活動を理解する
授業科目	基礎看護学実習Ⅰ		基礎看護学実習Ⅱ		基礎看護学実習Ⅲ	
単位・時間	1単位 45時間		1単位 45時間		1単位 45時間	
開講時期	1年次後期		1年次後期		2年次前期	
学習内容	病棟実習 入院患者と療養生活の理解 療養生活における日常生活援助		病棟実習 患者の基本的ニーズを充足するための看護の理解 経過に応じた看護(急性期・回復期・慢性期)		病棟実習 看護過程の展開 経過に応じた看護(急性期・回復期・慢性期)	
評価方法	講義・演習：出席、筆記試験、実技試験、レポートによる総合評価 実習：出席・実習評価表に基づく評価					